

変位制限機能付落橋防止ケーブル
取付手順

平成23年6月

神鋼鋼線工業株式会社

(1) 取り付け手順

落橋防止装置の取り付けを以下の手順に従って行って下さい。

内 容

①落橋防止装置の配置

PCケーブル取付に先行して、以下の配置および施工を行って下さい。

<1> ブラケットで定着する場合

- ・ 図面通りの位置に配置して下さい。

<2> コンクリート部に直接定着する場合

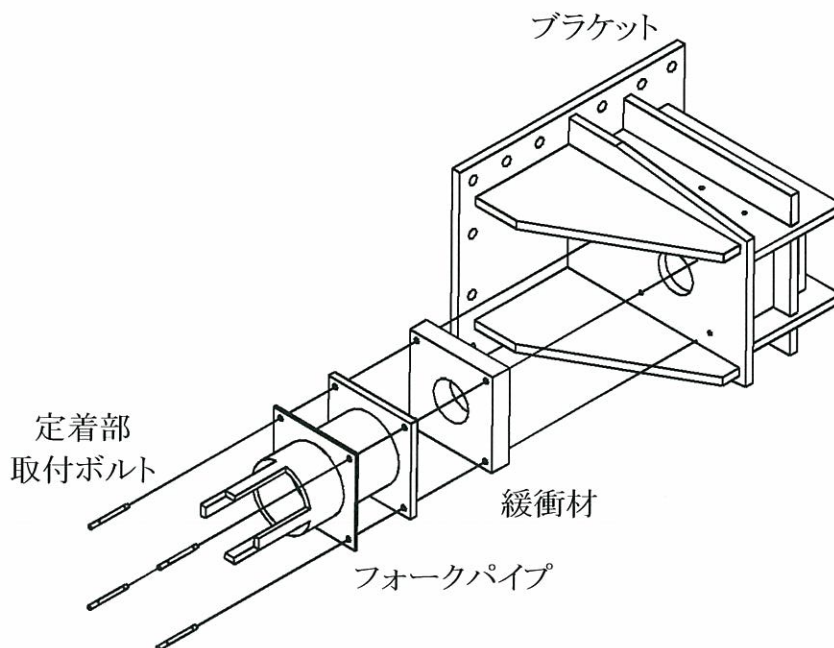
- ・ コンクリート打設前に、偏向ダクト、シース管を埋め込んで下さい。
(既設部の場合は、コア抜きを行って下さい。)
- ・ 定着部取付ボルト用ホールインアンカーを配置して下さい。

<3> 鋼部分に直接定着する場合

- ・ 定着部取付ボルトを取りつけるためのタップ穴およびケーブル貫通穴を設けて下さい。

②緩衝材・フォークパイプ(支圧板)の取り付け

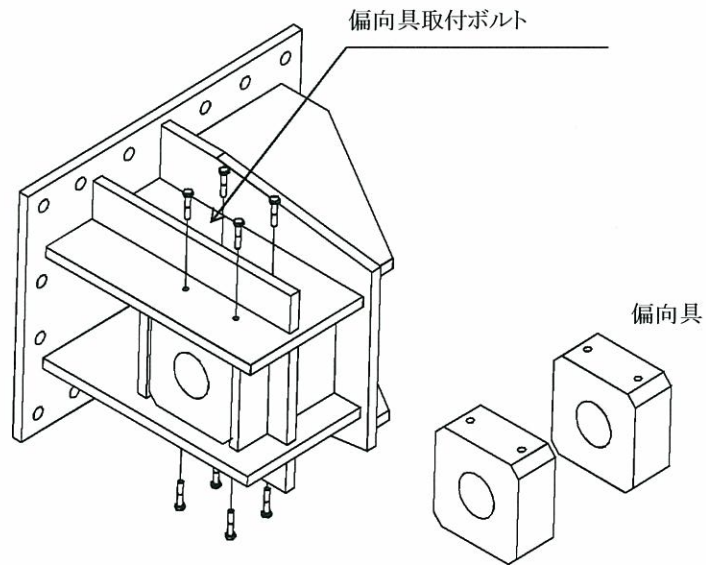
定着箇所のタップ穴に定着部取付ボルト(ネジ部が短い方)を取り付け、緩衝材、フォークパイプ(支圧板)の順に取り付けます。コンクリート部取付けの場合は、ホールインアンカーを先に取り付けておきます。



内 容

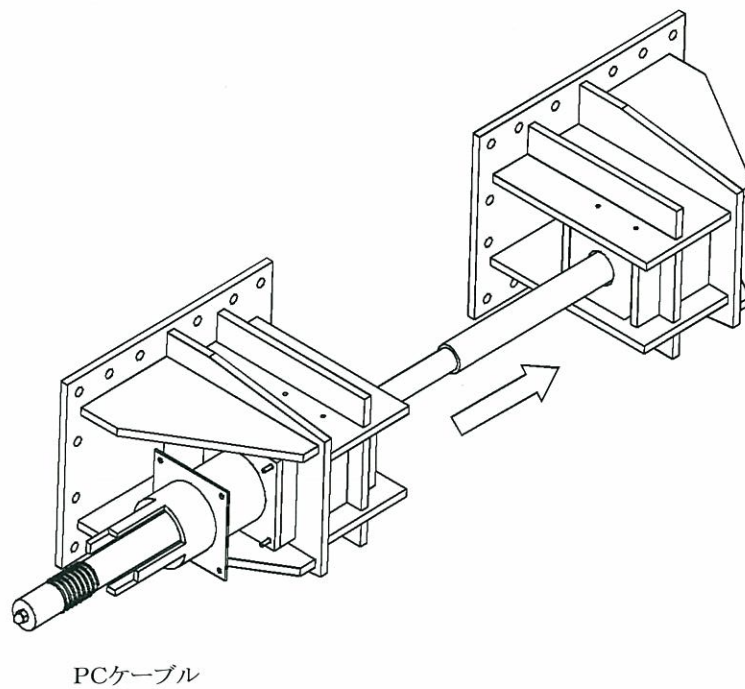
③偏向具の取り付け

偏向具をブラケットリブ内に挿入し、偏向具取付ボルトを用いて固定します。



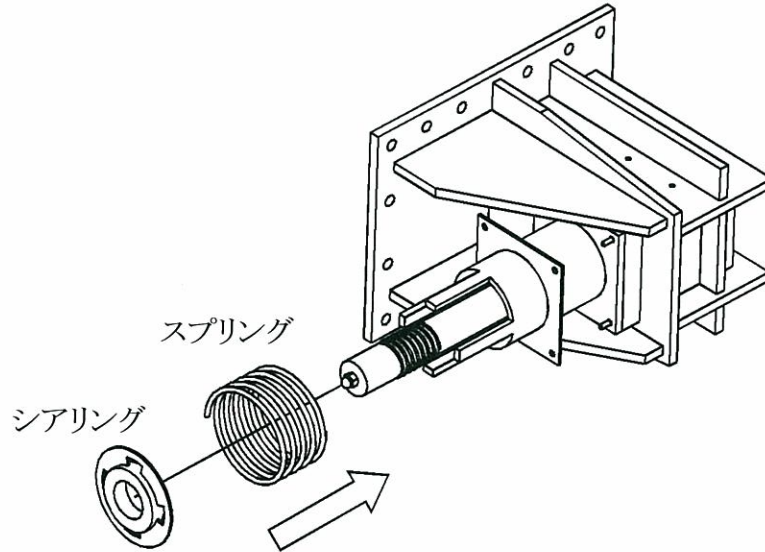
④ケーブルの取り付け

養生材を取り除いたケーブルを挿入し、定着体(ブラケット等)の外側にネジ切り部が出るようにします。

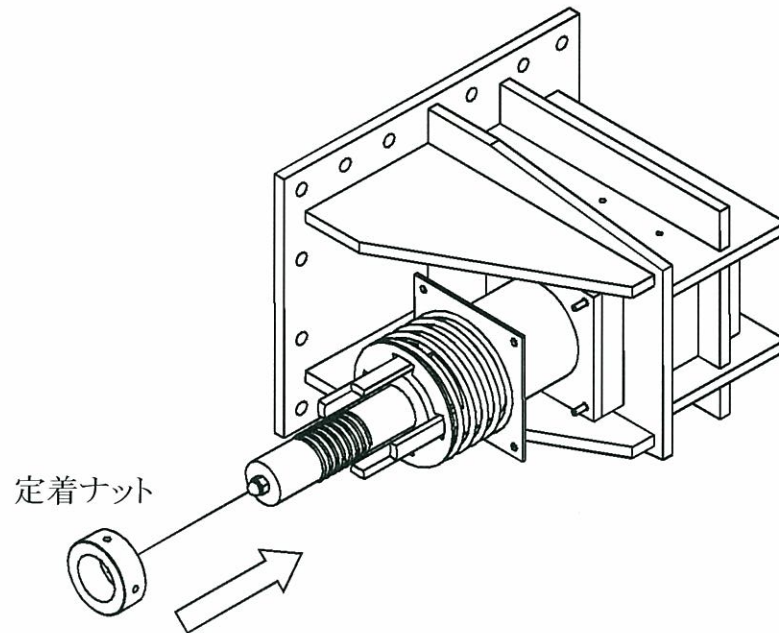


内 容

- ⑤ スプリング・シアリングの取り付け
スプリング・シアリングの順に取り付けます。



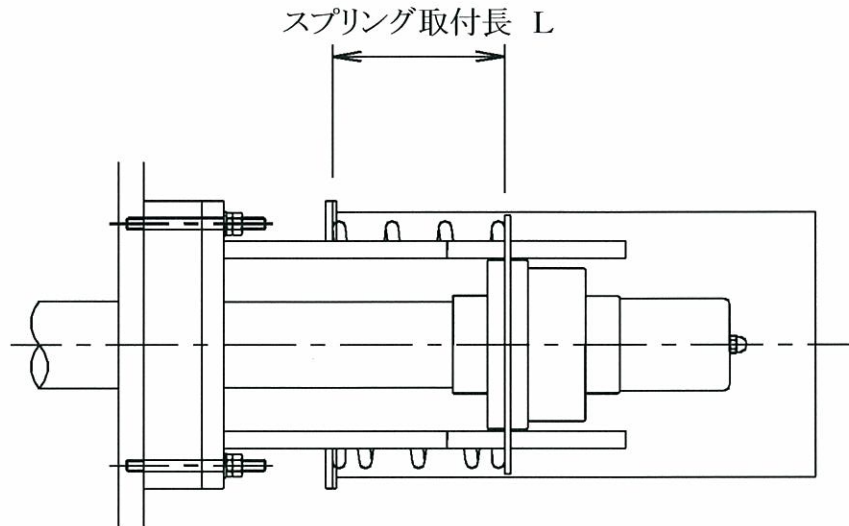
- ⑥ 定着ナットの取り付け
定着ナットをケーブルの先端よりねじ込みます。この時、フォークパイプとシアリングとのクリアランスを合わせて、定着ナットの位置を決めます。



内 容

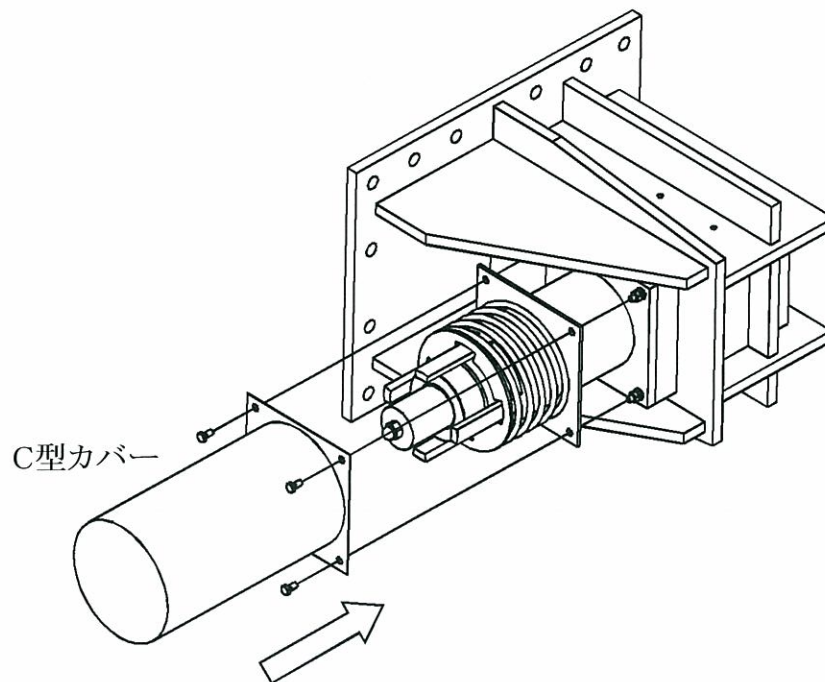
⑦スプリングバンドの切断

定着ナット、シアリングの位置を再度確認し、スプリングのナイロンバンドを切断します。



⑧C型カバーの取り付け

C型カバー四隅の孔とフォークパイプの孔を合わせ、C型カバー取付ボルトにて固定します。



(2). 安全管理

施工にあたっては以下の事項を十分に注意して下さい。

(1) ケーブル

- ・ ケーブルはPC鋼より線を使用しています。端部の反発には、充分注意して下さい。
- ・ ケーブルの吊り上げは、吊り具の片寄り等ないように慎重に行ってください。

(2) スプリング

- ・ スプリングは、縛っているナイロンバンドを切断すると反発力が生じます。両端の定着ナットの位置が決まるまで、決して切断しないで下さい。
- ・ シアリング、フォークパイプの間に隙間があると、ナイロンバンド切断時にスプリングの反発が生じ、手などを挟む恐れがあります。切断作業は慎重に行ってください。

(3) その他

- ・ ケーブル及び付属品の取付は全て手作業になります。指づめ等なきよう注意して下さい。
- ・ 落橋防止装置の取付は、高所、狭所での作業が多くなります。安全帯の使用、作業空間の確保に心掛けて下さい。